

社説

西伯利鐵道効力の半面

西伯利鐵道と云へば世人は直ちに百萬のロシア兵が東へ出て東に下るを想像するのみにして其東洋貿易に及ばず影響を論ずるものに至りては寧ろ如何なる國民も其の甚だ遺憾に思ふ所なり凡そ如何なる國民も其の甚だ遺憾に思ふ所なり凡そ如何なる國民も其の甚だ遺憾に思ふ所なり...

臨時内閣會議

昨日午前十時より永田町總理大臣の官邸に於て伊藤總理、西園寺文部、板垣内務、渡邊大藏、芳川司法、高橋拓殖、板本農商務、白根逋信(大山)、陸奥(二大臣欠席)の各大臣及び黒川樞密院議長等集りて臨時内閣會議を開き極めて秘密に何事かを審議する所ありたる後正午頃散會したり當日の議題は素より知るべき限りにあらずれども多分今度總理及び海軍大臣の臺灣巡視に付其出發に先ちて種々打合せを要する事あり且つ別項記載の如く臺灣總督更任の件に就ても審議する所ありしならん云々

桂第三師團長の總理訪問

今度桂山伯の後を受けて臺灣總督に任ぜらる可しとの噂ある桂第三師團長は昨日臨時閣議の際總理大臣の官邸を訪問せり

伊藤總理の陸奥伯訪問

伊藤總理は昨日臨時閣議を了り久我東京及び内海大阪府知事等の來客に接したる後直に馬車を馳せ陸奥外務大臣を西ヶ原の別邸に訪問せり多分臨時閣議の結果を齎して同大臣と協議する爲めならん云々

天理教會所設置の不認可

長野縣松本町にて天理教會深川支教會信陽出張所の設置を同縣北佐久郡小諸町にて同教會所二箇所の設置を孰れも出願したるに其筋にては開居難しとて其願書を却下したるよし

押嵐

第三十七回

あそば 押嵐の乾兒等に、半填しの企謀ありとは知る由もなけれど、二三日以來、何となく不穩の動靜あり、と聞川の探偵先づ注進の功を擡で、役所の狼狽一方ならず、探偵一探の二の舞油断して、役所を燒かるゝな、半を燒さるゝな、今夜の中に押嵐を服罪させて、乾兒の鼻を明せよ、と極明把つて、押嵐を牢より引出しぬ。

て、眼に毒物の光を含み、銀百貫の身を棄つるに極めて、腹になつたる苦毒を腹奥に隠し、動かさる度胸山の如くに歩み出でつ。禮平と知事の庭前に尻を据えたり。知事は中々に打解顔なり。



「決心の程は神妙ぢやが、その位では死なしてやられぬ。好し、尋常では白状し居るまい、今夜もその拷問に懸るから其様思へ、」

「貴郎、上からは出せない、下からは出せぬ、折から乾兒の一人は追來りぬ。續いて新兵衛も來りぬ。騒動の晩にも此處に連ねぬと思つて乾兒が仕たり顔な付けて、」